

meiji

医薬品セグメント説明会

2017.6.19

明治ホールディングス株式会社

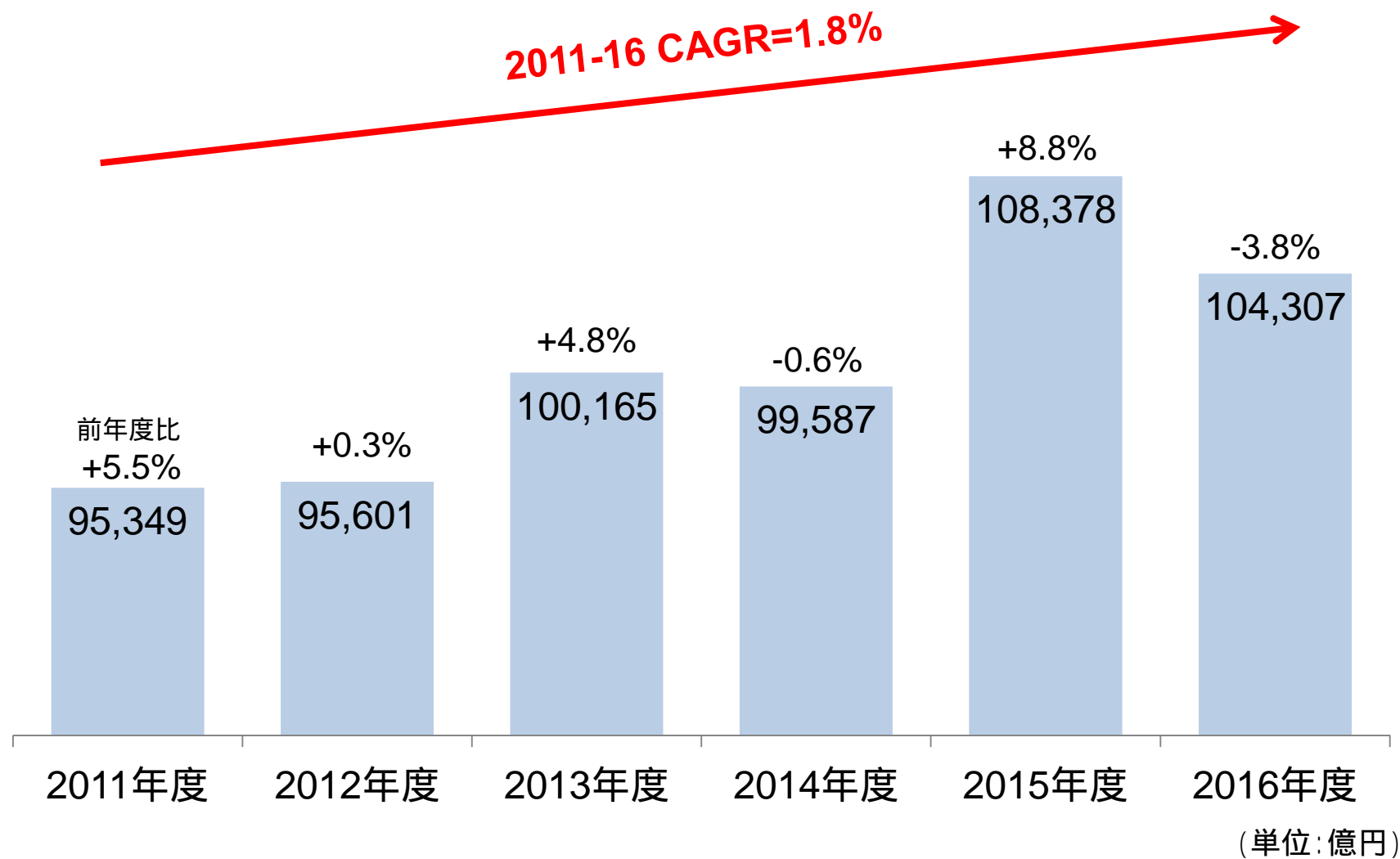
1. 医薬品市場環境

2. 今後の成長戦略

- ・ 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



1. 医薬品市場環境



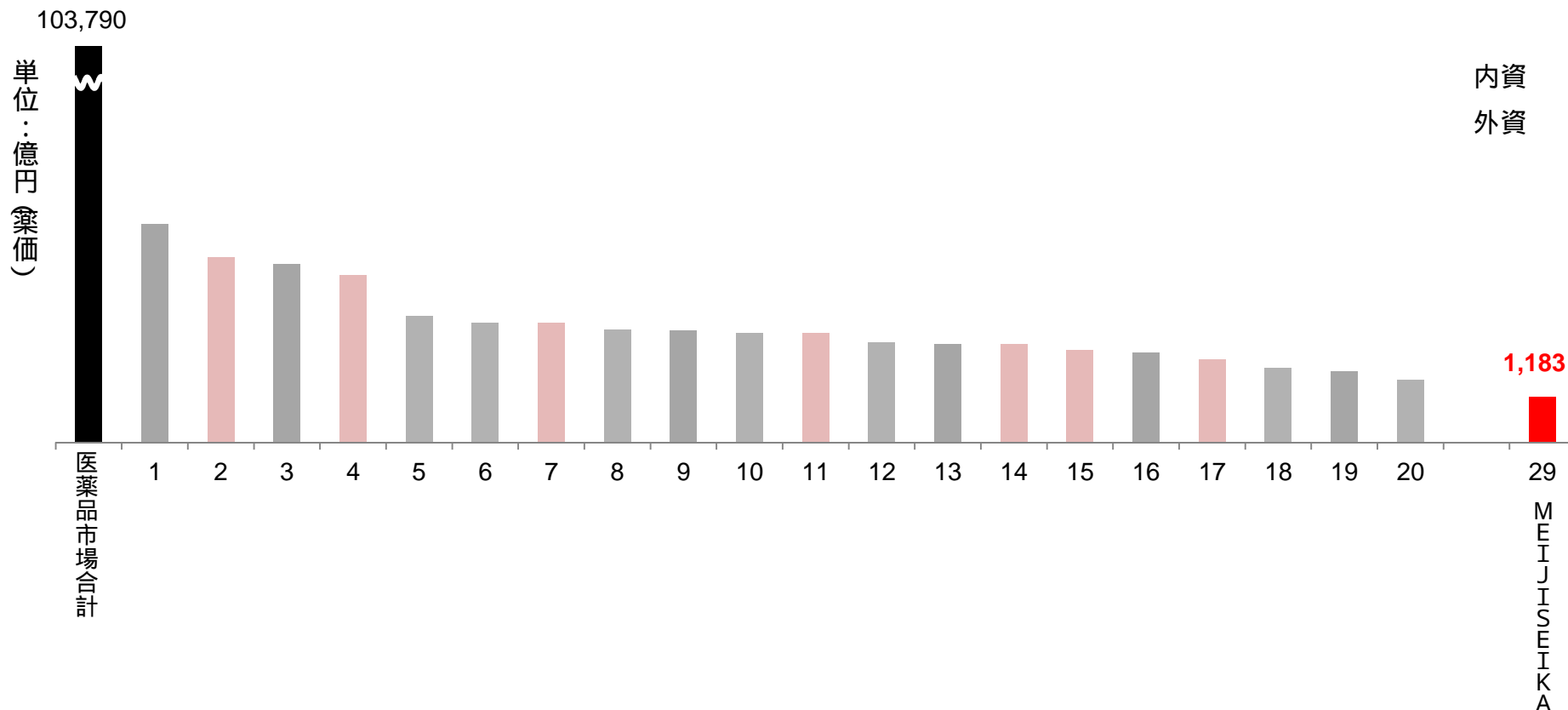
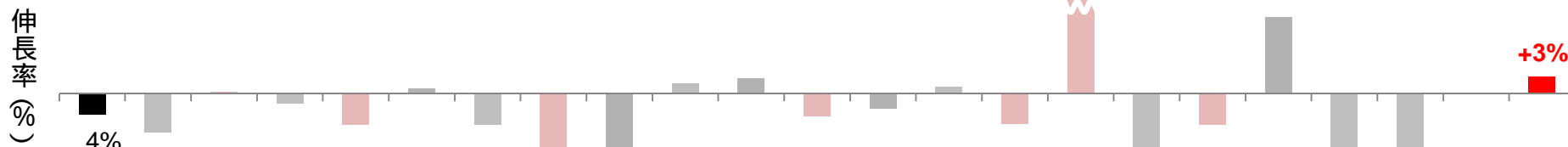
Copyright©2017QuintilesIMS.
Calculated based on JPM 2017 Mar MAT
Reprinted with permission

国内医療用医薬品市場(会社別)

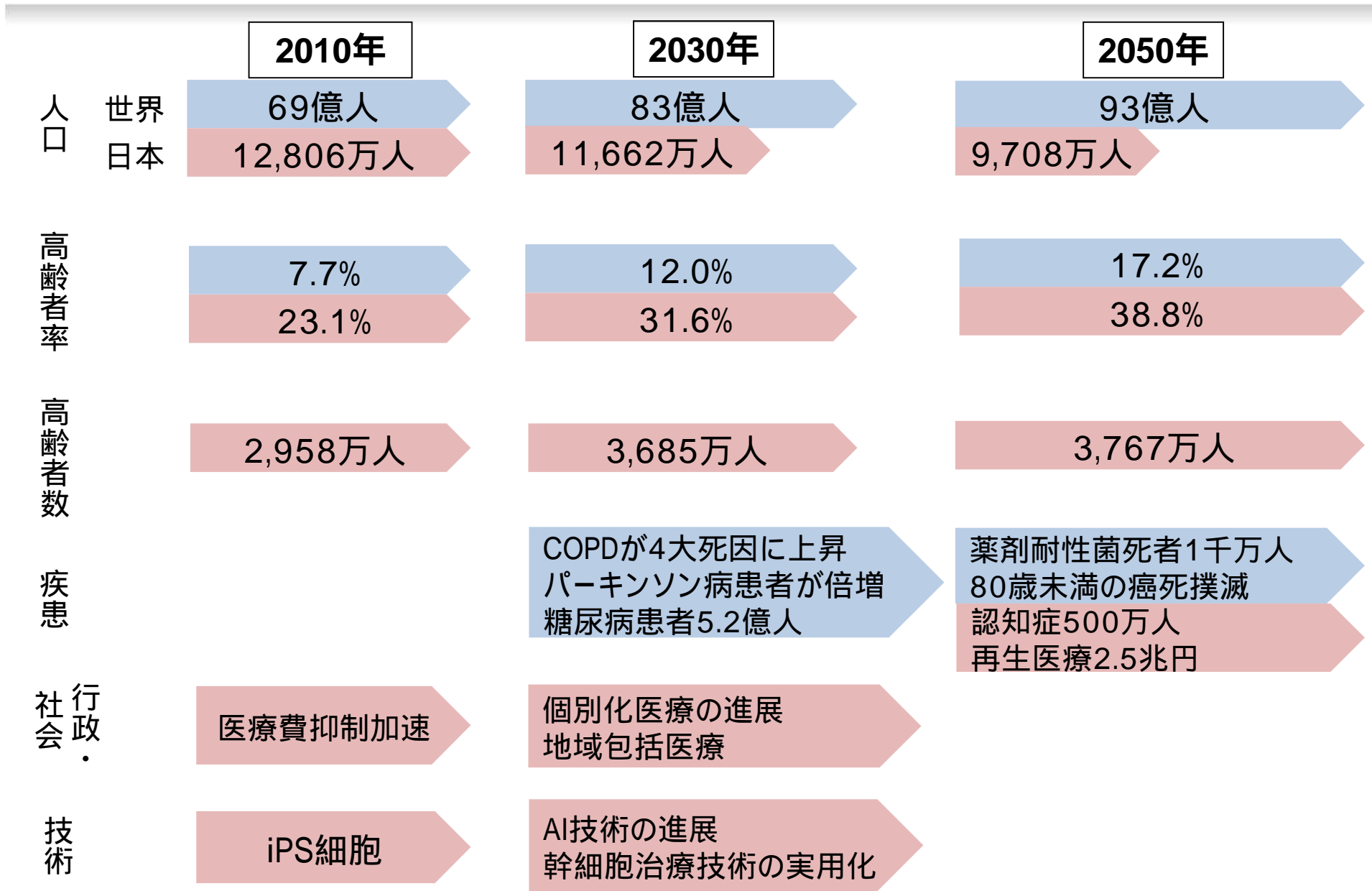
期間:2016年4月-2017年3月



C型肝炎治療薬・抗PD-1抗体
を除く医薬品市場伸長率 **-2.6%**



医療のメガトレンド(2010～2050年)と市場拡大の可能性



1 長期収載品の特例的引き下げの適用

後発品収載から5年経過してもジェネリック化が進んでいない
先発品の薬価を最大2%引き下げる

2 ジェネリック医薬品

- ・ 初発薬価が先発品の0.7掛けから0.5掛けへ変更
(収載が10品目を超える内用薬は0.4掛け)
- ・ 既収載品の薬価を3価格帯に集約
- ・ 数量シェア目標の変更
2017年末までに70%、2020年9月までに80%

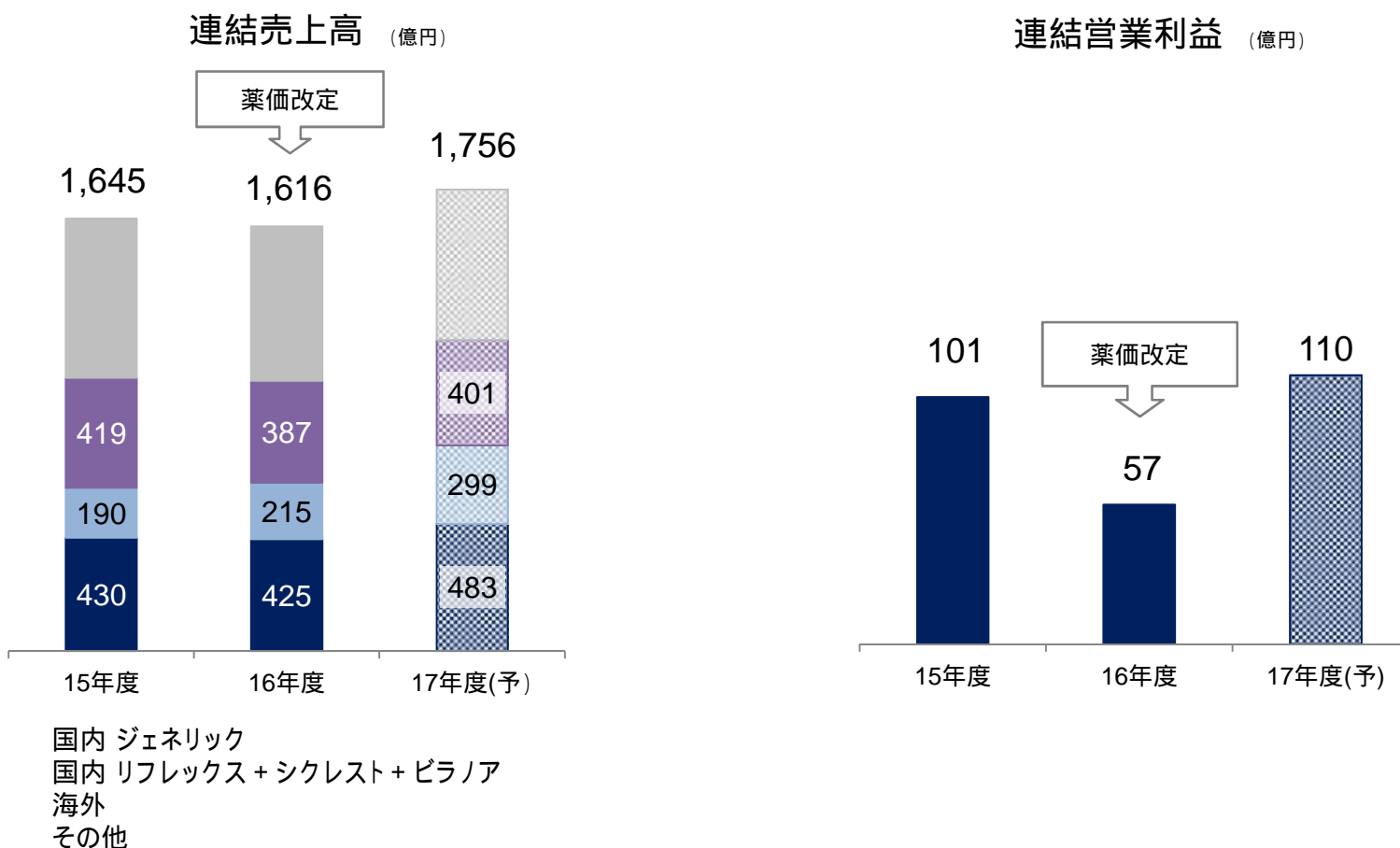
3 向精神薬多剤投与制限、抗生物質使用規制



2. 今後の成長戦略

2017年度の見通し

重点領域に経営資源を集中
 確実な売上拡大とローコストオペレーションの徹底で増益



(注) 海外売上高は、単体の輸出事業および海外グループ会社の売上高(消去後数値)

成長戦略

- 国内医薬事業の売上・利益の最大化
- 海外事業の収益力強化
- 確実に利益に結び付く研究・開発の遂行
- 生物産業事業の利益体質への転換

コストコントロール

- 品目構成及び物流体制の最適化
- ローコストオペレーションの実行

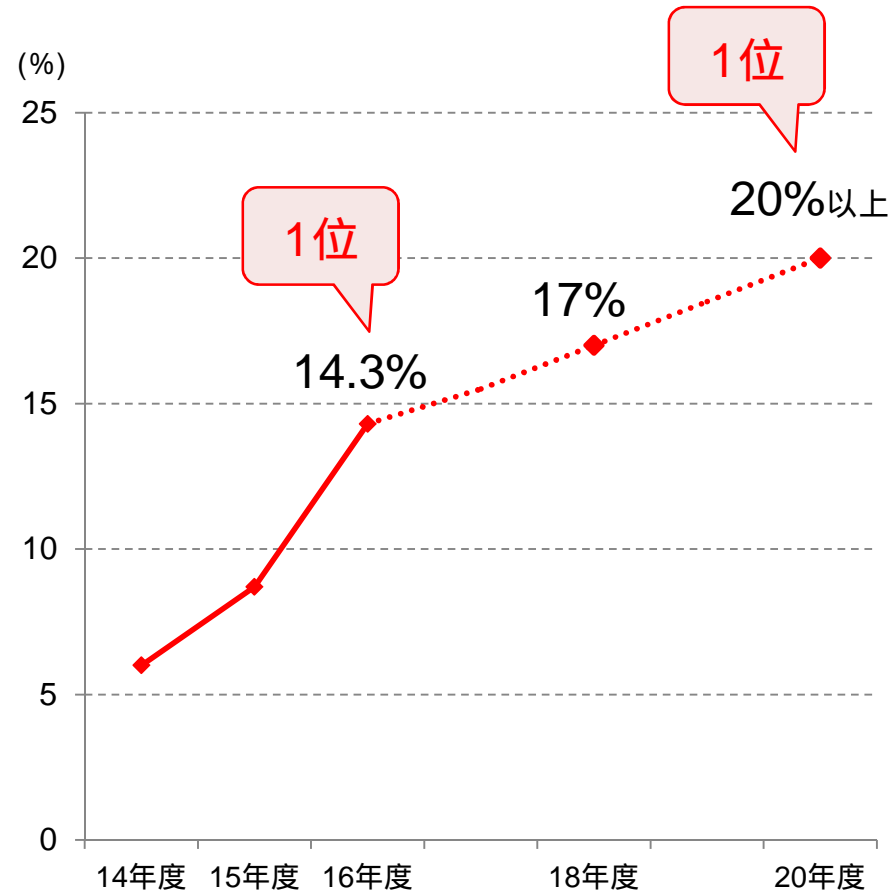
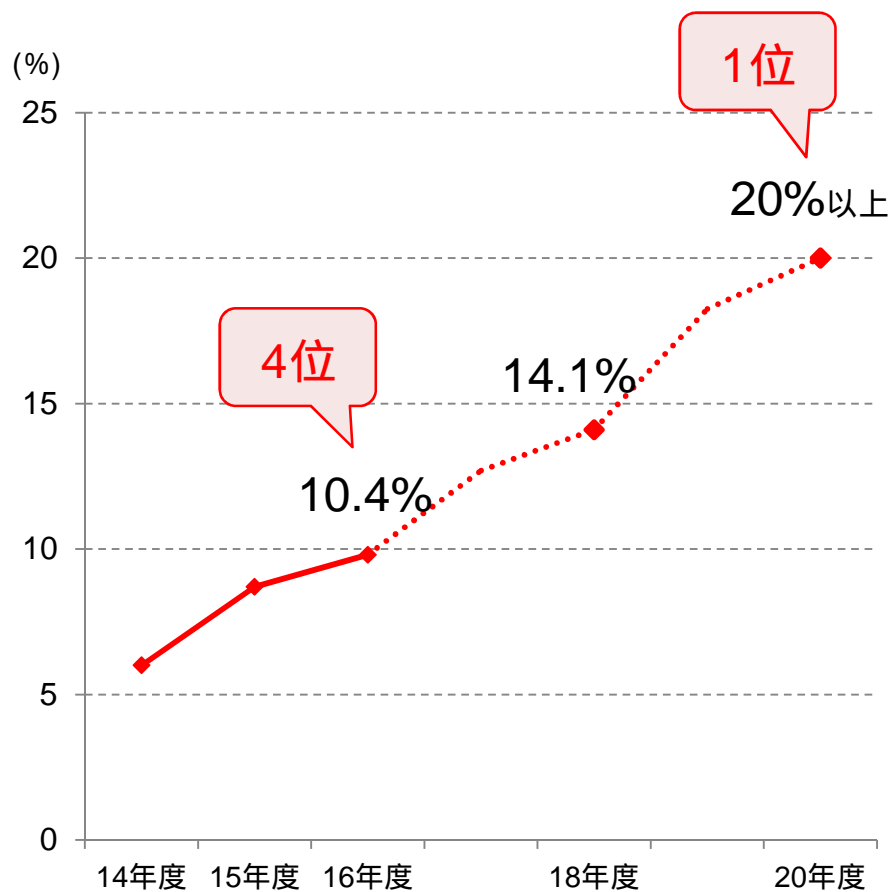
事業基盤強化

- 高度な信頼性保証の構築と運用
- 競争力のある人的資本の育成と調達

得意領域における販売シェア伸長

中枢神経系 (CNS) 領域
(抗うつ薬 + 非定型抗精神病薬市場)

抗菌薬領域



Copyright©2017QuintilesIMS.
Calculated based on JPM 2017 Mar MAT
Reprinted with permission

CNS領域の売上最大化



新薬 + ジェネリックの豊富なラインナップで、CNS領域のシェア首位を目指す

	抗うつ剤市場	シェア	伸長率
1	A	32.8%	↑
2	リフレックス	15.1%	↑
3	B	11.3%	↑
4	C	8.4%	↓
5	D	5.7%	↑
6	E	5.4%	↓
7	F	4.2%	↑
8	G	4.0%	↑
9	デプロメール	1.3%	↓
10	セルトラリン明治	1.1%	↑

	非定型抗精神病薬市場	シェア	伸長率
1	H	29.3%	↑
2	I	19.2%	↓
3	J	10.3%	↓
4	K	8.9%	↓
5	L	5.8%	↑
6	M	5.2%	↑
7	N	5.1%	↓
8	O	1.6%	↓
9	オランザピン明治	1.4%	-
10	シクレスト	1.3%	-

- 統合失調症治療薬 シクレスト
 - ・ 17年6月1日投与制限解除
 - ・ 即効性が期待でき、統合失調症急性期の新しい選択肢となる新薬
 - ・ 17年度売上高(計画)：40億円
 - ・ ピーク時売上高：385億円(薬価ベース)

- 抗うつ薬 リフレックス
 - ・ 日本人で初めての大規模エビデンスを活用した売上拡大

リフレックスの一般名

ミルタザピン群は、汎用されている他の抗うつ薬群と比較し、早期にうつ病評価尺度が改善。投与開始2週目で、両群間では有意な差が認められた。

アレルギー性疾患治療薬 ビラノアの売上拡大

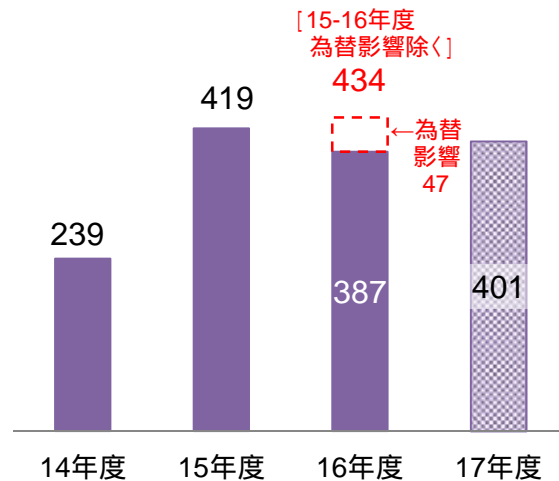
- 17年12月投与制限解除
- 新規成分の薬剤であり、市場のニーズ（即効性・持続性・安全性）を満たしている
- 17年度売上高(計画)：42億円



ジェネリック事業を2つのカテゴリーに分け、新たな戦略を推進

カテゴリー	ドメイン	MRの有無	強み
スペシャリティ ジェネリック	<ul style="list-style-type: none">・ 注射抗菌薬・ 内服抗菌薬・ 呼吸器領域・ CNS領域	有	新薬とジェネリック 医薬品の総合的な 処方提案
エッセンシャル ジェネリック	上記以外で、安定供給 が求められる領域 <ul style="list-style-type: none">・ 生活習慣・ 消化器領域	無	高品質、安価な 製剤の安定供給

海外売上高



17年度計画の為替前提

USドル	110円
ユーロ	120円
中国元	16円

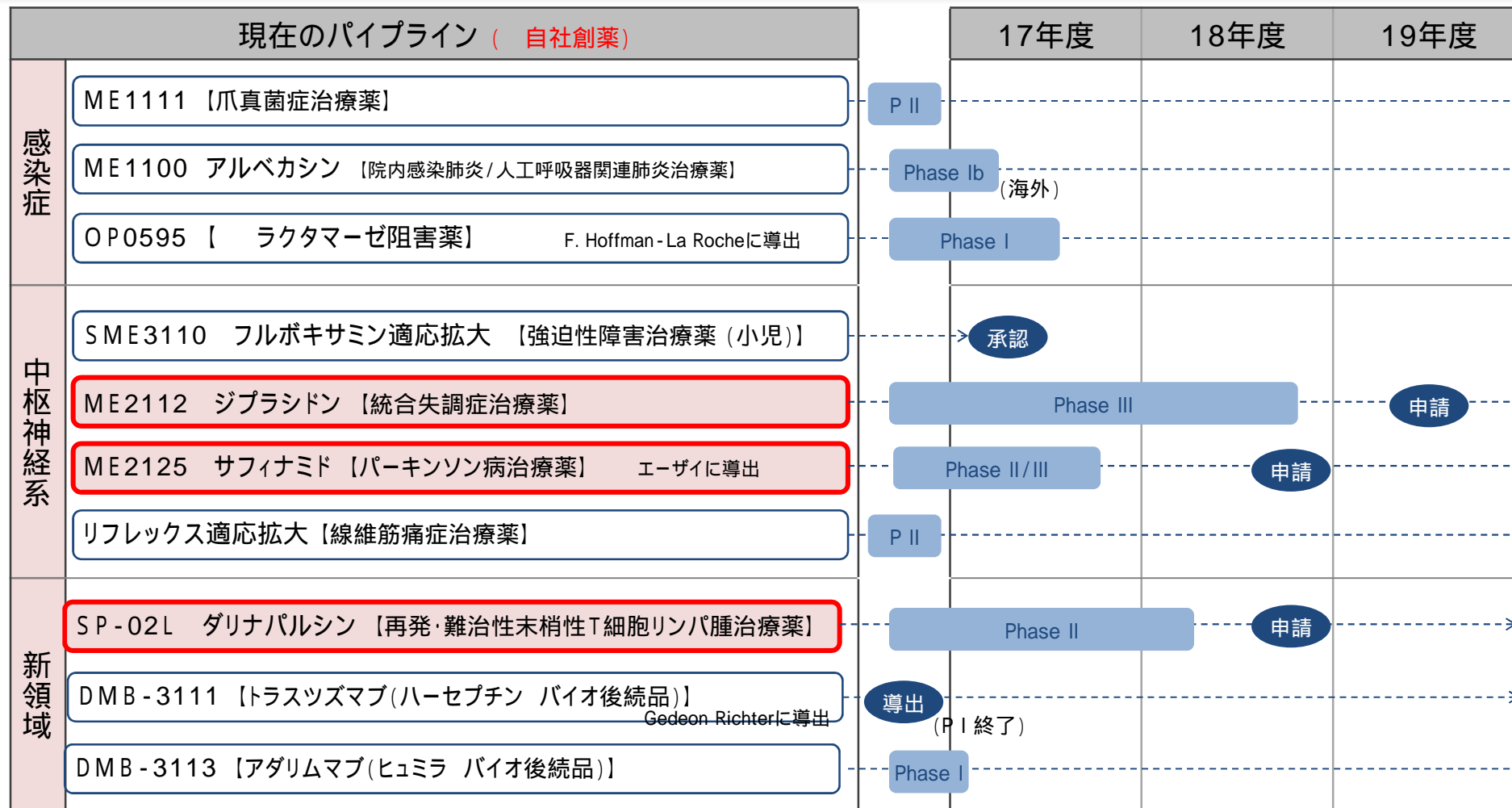
ASEAN

- 輸出ビジネスの拡大
- 海外子会社・海外販売会社における現地販売の拡大
- ASEANにおけるプレゼンス強化

メドライク

- CMO・CDMO事業の拡大
- 日本向け製品の生産およびサプライチェーンマネジメント体制を整備し、17年度秋より日本へ供給を開始

確実に利益に結び付く研究・開発の遂行



(注) 印は導出した品目。導出先や対象地域などの詳細については、当社ホームページをご参照ください

農薬

- オリゼメート、ザクサの原価低減による利益率向上と原体の安定調達
- パイプラインの着実なステージアップ



動物薬

- 品目整理の推進と原薬調達先まで踏み込んだ原価低減の推進

低コスト生産

安定供給

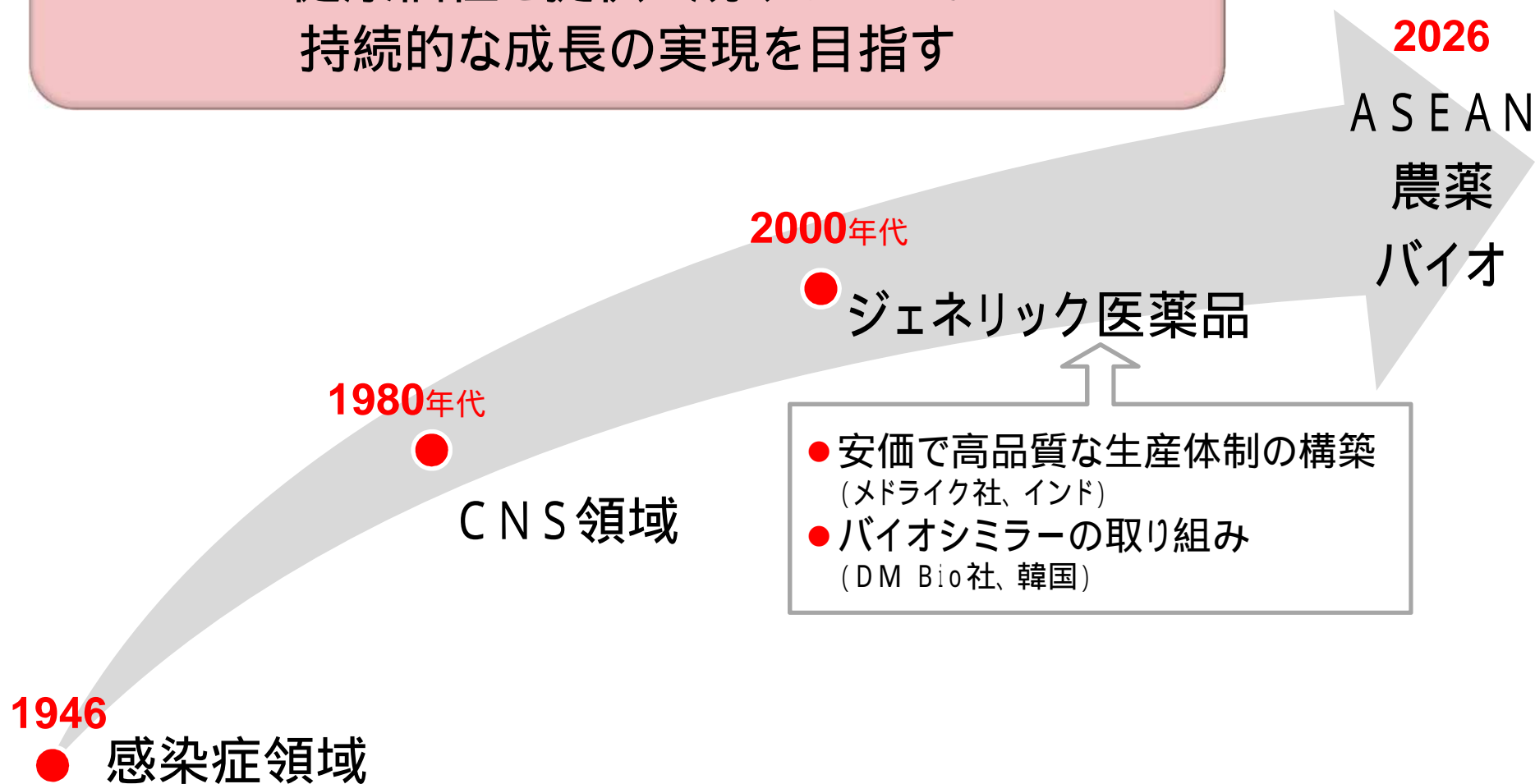
適正品質

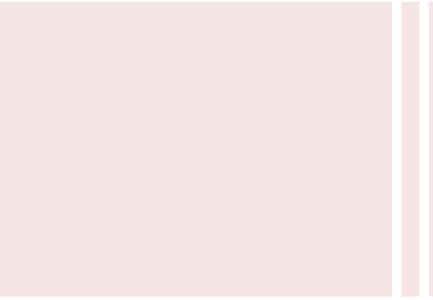
- 物流、生産拠点の最適化によるコスト削減
- 重要原薬・原材料の安価・安定調達体制の構築
- 国内外市場ニーズに基づく、競争力を有する適正品質の確保

- ✓ Meiji Seika ファルマ品質基準のグローバル展開
- ✓ 当社医薬品の信頼を高める情報発信
- ✓ グループ会社の信頼性保証体制と国内外規制に対する適応力強化

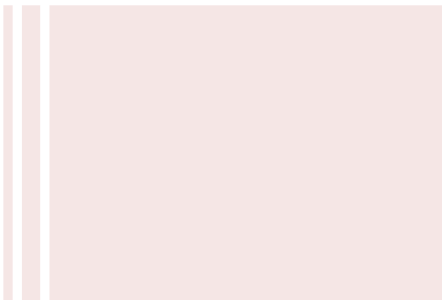
Meiji Seikaファルマの中長期の目指す姿

拡大する医療需要や事業環境の変化に対応し、
健康価値を提供し続けることで
持続的な成長の実現を目指す





meiji

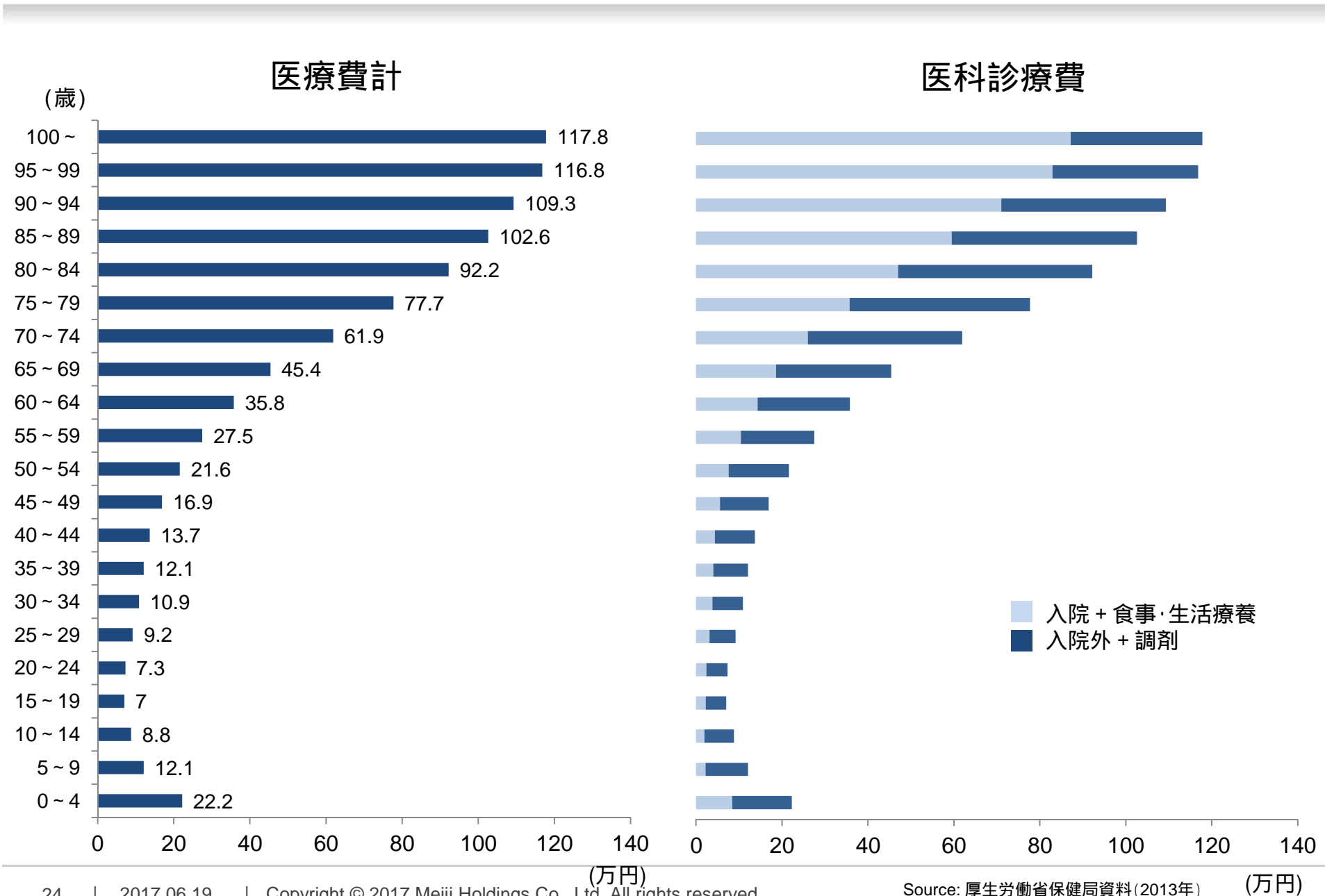




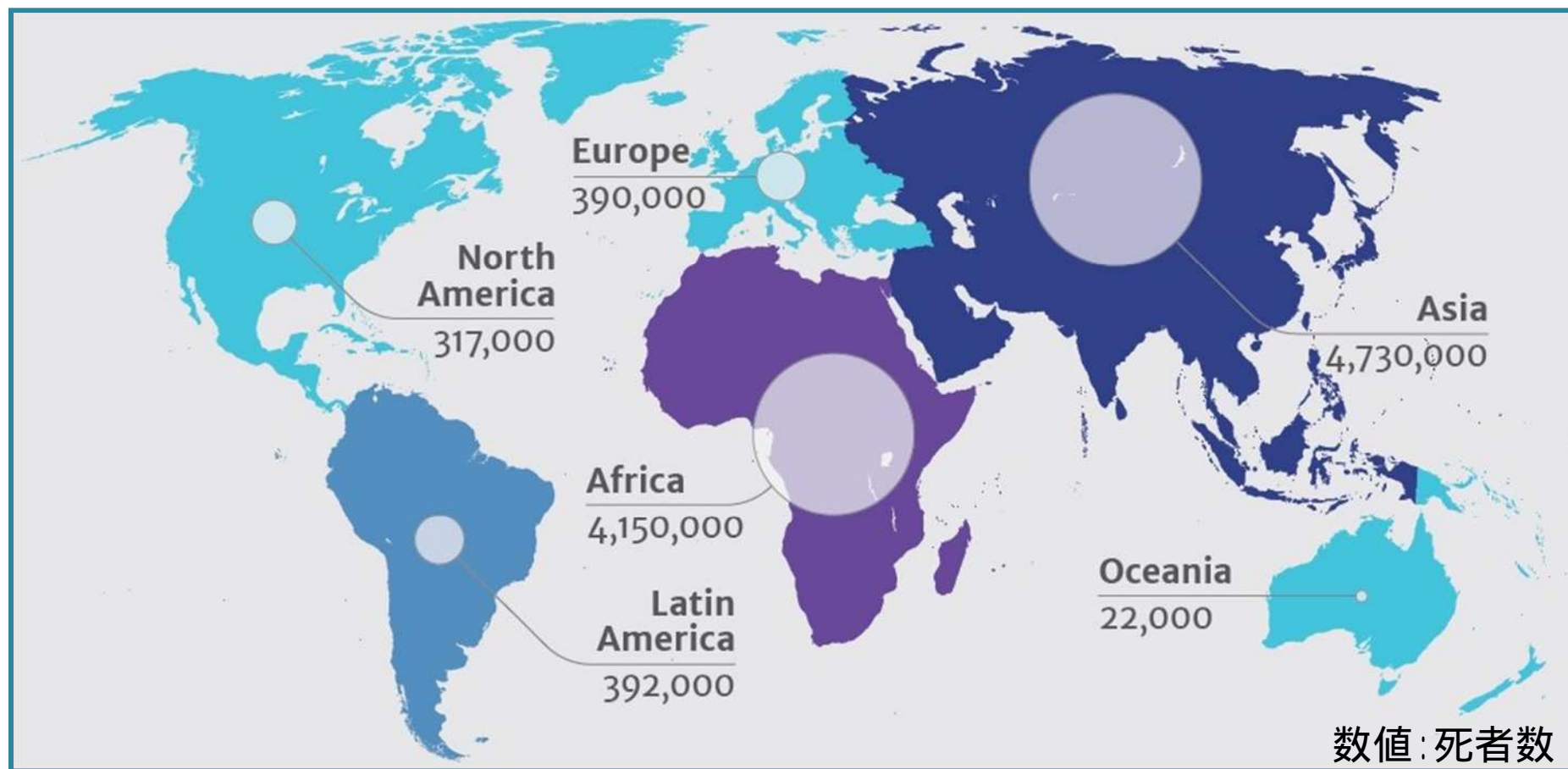
参考資料

- CAGR Compound Average Growth Rateの略。
年平均成長率
- CMO Contract Manufacturing Organizationの略。
製薬企業の委託を受け、医薬品製造を代行する企業で、生産性向上やコストダウンの点で重要な役割を果たしている。
- CDMO CDMO: Contract Development and Manufacturing Organizationの略。
CMOの機能に加え、医薬品の製剤開発も含めた受託サービスを提供する事業。
- COPD Chronic Obstructive Pulmonary Diseaseの略。
慢性閉塞性肺疾患と呼ばれ、タバコ煙などに含まれる有害なガスを習慣的に長時間吸入することで起こる、肺の慢性的な炎症性疾患。

年齢階級別 1人当たり医療費

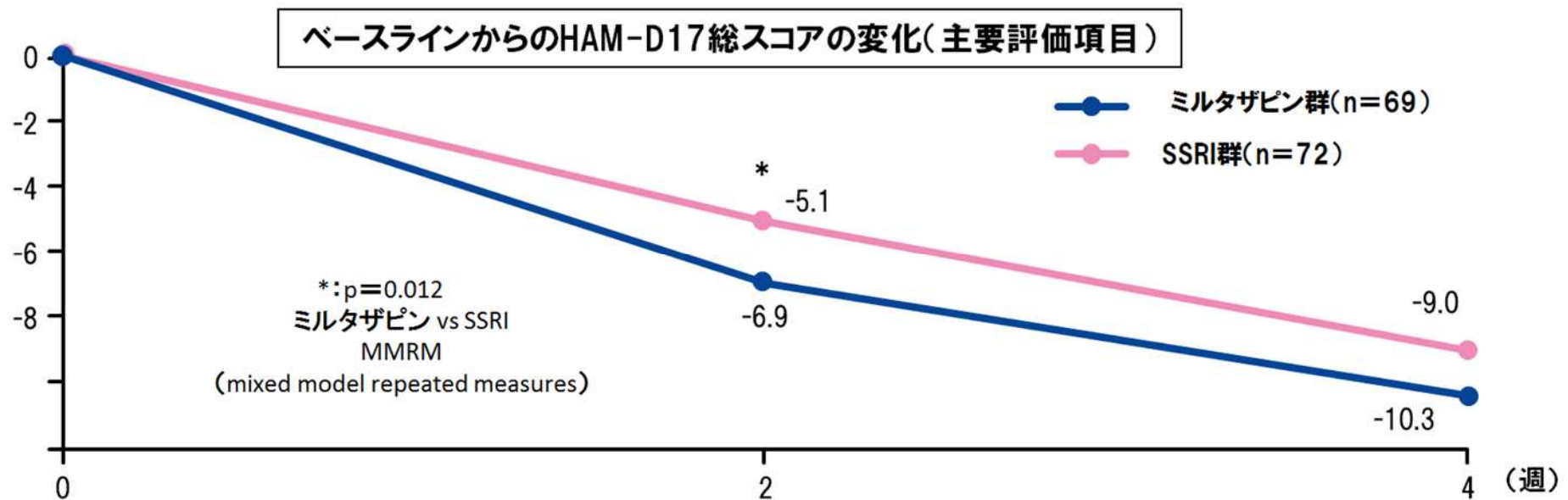


2050年には薬剤耐性菌による死者は1,000万人に

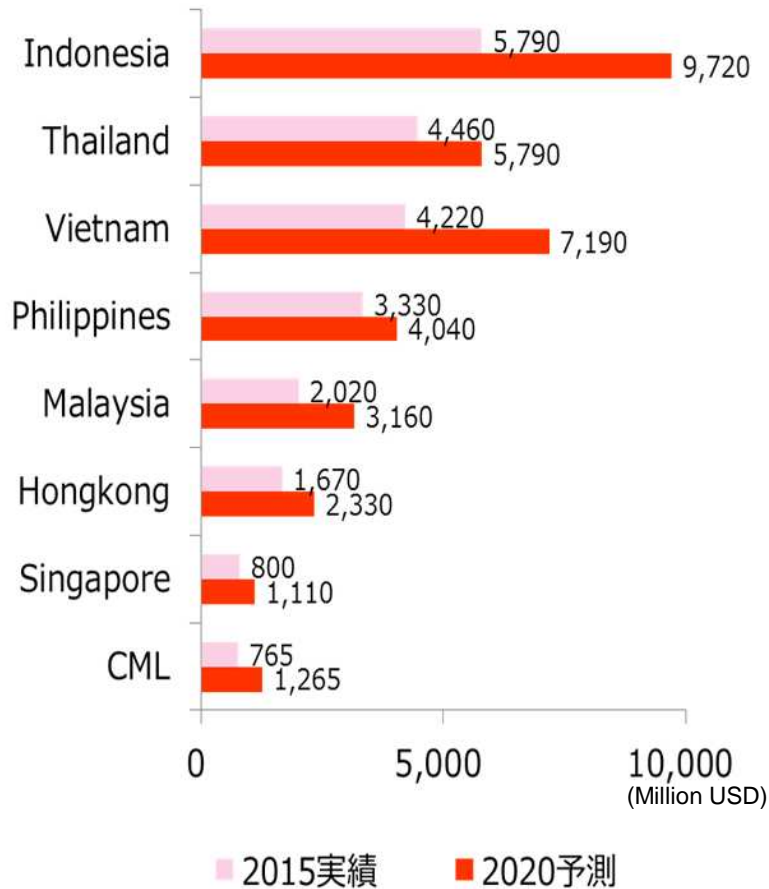


GUNDAM:

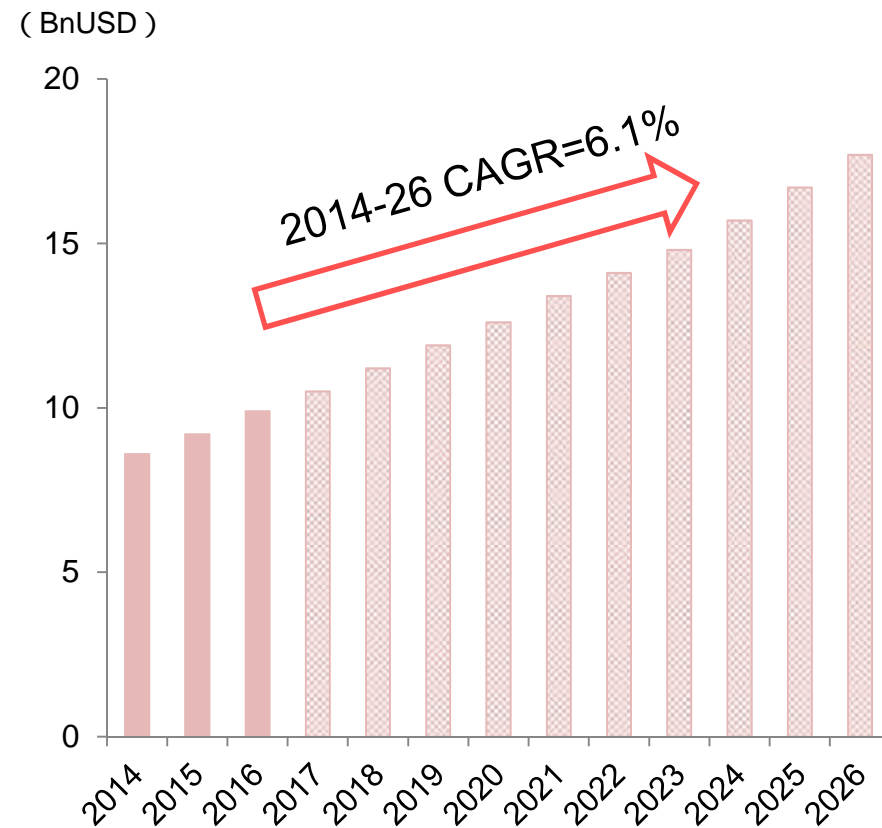
Genotype Utility Needed for Depression Antidepressant Medication



ASEAN地域での人体用医薬品市場



世界での固型製剤CMO市場





1. P.T. Meiji Indonesian Pharmaceutical Industries

- 1974年設立
- 1994年より、日本向け医療用医薬品の輸出開始
- 設備増強し、ペニシリン製剤の生産拠点化
大手製薬企業からの製造も受託



バイアルの洗浄・殺菌
(P.T. Meiji Indonesian)

3. Medreich

- 2015年、株式取得により子会社化
- 2017年度秋よりジェネリック製剤の日本向け供給を開始

2. Thai Meiji Pharmaceutical

- 1979年設立
- 2004年より、日本向け医療用医薬品の輸出開始
- 現在「アムロジピン」などのジェネリック製剤を製造



レーザー捺印機 (Thai Meiji)